

要望書（回答）

1. 戦車等が多く住民にとって安穩であるべき夜間の時間帯に公道を自走し、住宅街を通過することは市民生活にも悪影響を与えるものであることを踏まえ、住民に不安や迷惑等を与えることがないように自衛隊に申し入れを行うこと。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

市におきましては、市民の皆様からの声を踏まえ、陸上自衛隊第7師団に対して、キャタピラへのゴムパット装着や、市街地における時速20km以下での低速走行など、市民生活への最大限の配慮について事前に強く要請しており、実際の訓練においては、この要請内容に沿って実施されております。

また、訓練当日には、市として現地に職員を配置して騒音振動を測定するなど、市民生活への影響の把握に努めているところでございます。

2. 苫小牧市内で、午後10時から午前6時までの間に陸上自衛隊の戦闘装甲車の公道走行の実施が予想される場合は、適切な地点を設定し騒音調査を行うこと。その結果も含め、可能な限り詳細な情報を市民に適切な形で提供できるようにすること。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

市民の不安解消に向けては、適切かつ丁寧な情報発信が重要と認識しており、これまでも訓練実施前に、市ホームページやフェイスブック、LINE、北海道新聞及び苫小牧民報に訓練概要等を掲載する他、走行区間の沿道世帯に対して事前に周知チラシを配布するなど、様々な手法で周知を図っております。

また、訓練実施後には騒音・振動の詳細結果を市ホームページに掲載しているところであり、今後とも、適切かつ速やかな情報提供を行ってまいります。

3. 「非核平和都市条例」を有する苫小牧市の公道で戦車等の自走訓練が行われることへの懸念を有する市民の声があることを、市長は市民を代表する立場として関係機関に伝えること。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

民主主義国家である我が国において、自衛隊の訓練に対して、様々な考えをお持ちの方がいることは、理解をするところでございます。

市におきましては、これまでも市民の安全・安心を守る立場から、機会を捉えて自衛隊に対して市民からのご意見等を伝えており、今後につきましても、同様の考えに基づき対応してまいります。